

平成 29 年度 復興庁「新しい東北」共創力で進む東北プロジェクト

第 3 回共創イベント（9 月 9-10 日 in 仙台）

『リアルタイム流通で農産物を繋ぐ ICT 地域商社』参加要項

共創テーマ：

「リアルタイム流通で農産物を繋ぐ ICT 地域商社とは？」

ニーズ提供団体：株式会社 concept-village（福島県郡山市）

（共同実施：一般社団法人 Cool Agri）

ニーズ内容：

農家が飲食店やホテル、旅館等の納品先とリアルタイムに情報を共有しながら、「生産者の顔の見える農産物」を即座に消費者に届けるための ICT を活用した地域商社の仕組みづくり



▼概要

東日本大震災は「複合災害」であり、福島県を中心にその影響は多岐に渡っています。同県の主要産業の一つである農業では、原発事故の風評被害と相まって、特産物である米や肉牛、野菜・果物などの出荷量・価格共に震災前水準の回復には至っていません。同様に、生産地近辺での地産地消割合の向上も課題となっています。地元の飲食店やホテル、旅館等も、顔の見える農家から鮮度の良い安心安全な食材を仕入れたいというニーズは高いものの、そのための情報の共有と流通の仕組みの構築が課題です。

今回の共創イベントでは、農家と飲食業界、そして実際に食材を口にする消費者がそれぞれ持つ有益な情報をリアルタイムで繋ぎ、即時に流通サービスに乗せることの出来る「ICT 地域商

社」の仕組みを構築するためのアイデア創発を行います。福島から新たな農産物の流通の形を提案し、同様の課題を抱える日本の地方に展開していくという挑戦に、皆さんも様々な立場から参加してみませんか。

(※IT サービスの試作が可能な方の参加も歓迎です。別途、ハッカソンチームの設置等、チームビルドは柔軟に対応致します。)

《東日本大震災における風評被害》

福島県では、米の全量全袋検査が2012年より継続されており、2015年以降、国の法定基準値を超える放射性物質が検出された例はありません。消費者庁の調査によれば、福島県産の農産物の購入をためらうと回答している人の割合は2割弱で推移していますが、放射性物質検査が現在も実施されていることを知らない人の割合は増えており(2013年9月22.4%→2016年8月34.8%)、風評と共に風化も懸念されています。また、福島県産の米・肉牛・野菜・果物のいずれも全国価格との差が震災前より広がっており、下落した県産農産物価格の回復も課題です。

《地産地消割合の低下》

県外での風評・風化対策に加え、福島県内における地産地消割合の震災前水準の回復も課題の一つです。学校給食への地場農産物の利用が回復基調にある一方で、福島市中央卸売市場における福島県農産物の取扱数量のシェアは、全体の22%に留まるというデータもあります(2015年3月福島県農林水産部)。福島県内には、70,000超の農家が存在しますが、年商1,000万円以上の農家は約1,000、同県の農産物売上の約6割を占めています。今回の共創イベントで仕組みを考える「ICT地域商社」は、年商1,000万円以下の農家に対しても裾野を広げ、農産物販売の機会を増やすことを目指しています。新規の販路開拓が重要な課題である一方、限られた働き手で営業・物流までカバーすることが難しい中小規模の農家の基盤強化を目指しています。

《情報と流通》

株式会社 concept-village が構想する「ICT地域商社」は、農家が納品先(ホテル、旅館、飲食店等)と顔の見える関係を構築し、お互いが持っているお互いにとって有益な情報をリアルタイムで共有し、即時に流通させることを可能にする仕組みです。従来より配送のリードタイムを短縮しながら、作り手と食べ手の心理的距離も身近にする「ICT地域商社」とは?具体的にこういった仕組みやプレイヤーが、リアルタイムに情報を共有し、新鮮な農作物を流通させるために必要なのか?こうした問いを、今回の共創イベントで参加者の皆さんと一緒に考えながら、「ICT地域商社」の構想を具現化していきます。

- ▼ 日時：2017 年 9 月 9 日(土)13:30～10 日(日)16:30
- ▼ 会場：INTILAQ 東北イノベーションセンター（宮城県仙台市若林区卸町 2-9-1）
 - ※ アクセス：仙台市営地下鉄東西線「荒井行」卸町駅下車 北 1 出口より徒歩 5 分
 - ※ 仙台駅から卸町駅までは約 10 分です。時刻表はこちら→<https://goo.gl/EFVebV>
 - ※ 卸町駅北 1 出口から会場までの経路はこちら→<http://intilaq.jp/access/route/>
 - ※ お車で越しの方は、会場裏の「産業見本市会館サンフェスタ」の有料駐車場をご利用下さい。→<http://sunfesta.or.jp/facil/b1.html>
 - ※ 会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。
- ▼ 参加定員：30 名
- ▼ 参加費：無料
 - ※ 仙台市内での宿泊・食費その他実費は、参加者各位にてご負担下さい。
 - ※ 宿泊先、及び宿泊先から会場までの交通手段は各自でご手配下さい。
 - ※ 開催日の週末は仙台市内のイベントと重なり、市内での宿泊先の確保が難しい状況です。
参加を予定される方はお早めの予約か、難しい場合、事務局までご相談下さい。
- ▼ 参加申込：<http://fwtohouku.peatix.com/>
 - ※ 申込締切：2017 年 9 月 1 日（金）12:00
 - ※ 定員に達し次第、早期に締め切れる場合がございます。
 - ※ 原則、個人での参加申込となります。IT サービスの試作が可能なエンジニア等の方はチームでの参加も可能です。
 - ※ 申込者多数の場合は事務局で選考をさせていただきます。
 - ※ 参加が決定した方には、別途事務局より当日プログラムの詳細をご連絡いたします。
 - ※ 別紙「共創力で進む東北プロジェクト・共創イベント」参加同意書を記入の上、開催当日にご提出して下さい。
(記載内容に同意いただけない方は、参加の申し込みをお控えください。)
- ▼ 参加対象者
 - ・食を通じた地域活性化に関心のある方
 - ・ICT 利活用を通じた地域課題の解決に関心のある方
 - ・東北の若手経営者が挑む復興・地方創生の取組を応援したい方
 - ・地方での起業に関心のある方
 - ・IT エンジニア、デザイナー、各種クリエイター
 - ・高校生、大学生（※未成年者は、保護者の同意が必要です。）
- ▼ 持ち物：パソコンを持参できる方は、お持ちください。

▼ 当日プログラム内容（※各関係者との協議及び参加者属性等により、変更の可能性あり）

○テーマ：「リアルタイム流通で農産物を繋ぐ『ICT 地域商社』とは？」

○テーマ提供者：株式会社 concept-village 代表取締役 馬場 大治（ばば だいち）氏



- ・ 1987 年生まれ、30 歳。福島県郡山市出身。日本大学東北高等学校、上智大学文学部新聞学科卒業。東京にて広告代理店勤務を経て、震災を機に福島に Uターン、2013 年 3 月に株式会社 concept-village を設立。前職（広告会社）のスキルと実家で長年農業を営んでいた経験を活かし、「農業をプロデュースする会社」として、福島を中心に地方の農業の魅力発信や課題解決の企画立案・運営を手がける。
- ・ 2015 年 3 月 11 日には、福島の生産者が地域や市町村の垣根を越えて設立した一般社団法人 Cool Agri の共同代表に就任。同年、ふくしまベンチャーアワード最優秀賞、福島県知事賞、東邦銀行賞を受賞。また、ふくしま復興塾 2 期にて、KIRIN 賞を受賞するなど、「新しい東北」を体現するロールモデルの一人。

○9 月 9 日（土）

13:30 開会・主催者挨拶

13:40 アイスブレイク及びグループ内自己・他己紹介

（※事務局にて事前にグループ分けの予定です）

14:00 ニーズ概要説明（株式会社 concept-village 代表取締役・馬場大治氏）

14:20 パネルディスカッション（課題とニーズの整理）

〔登壇予定者〕

- ・ 株式会社 concept-village 代表取締役 馬場 大治氏
- ・ 有限会社マイティー千葉重 代表取締役 千葉 大貴氏（審査員兼メンター）
- ・ ライター・編集者 甲斐かおり氏（審査員兼メンター）

（モデレーター：株式会社フィラメント 代表取締役 角 勝）

15:10 [ワーク 1] 既存「ICT サービス」について

（15:50～休憩 10 分）

16:00 [ワーク 2] 農家・納品先・消費者それぞれが欲しい「情報」について

17:00 [ワーク 3] 情報と農産物を繋ぐ「リアルタイム流通」について

18:00 中間発表

18:30 第 1 日終了

○9 月 10 日（日）

10:00 開会・初日の振り返り

10:10 ゲストトーク（INTILAQ 東北イノベーションセンター長・佐々木大氏）

10:30 [ワーク 4]「リアルタイム流通で農産物を繋ぐ ICT 地域商社」事業設計
(途中、昼食)

14:30 成果発表会

15:30 審査タイム

【審査員】

- ・ 千葉 大貴氏（有限会社マイティー千葉重 代表取締役）
- ・ 甲斐 かおり氏（ライター・編集者）
- ・ 佐々木 大氏（INTILAQ 東北イノベーションセンター センター長）
- ・ 久保田 誉氏（復興庁参事官）

【参加賞】「生産者の顔の見える野菜・果物」

(※収穫状況・配送状況により変更の可能性があります)

15:50 結果発表&講評

16:20 閉会挨拶、記念撮影

16:30 解散

▼ 主催：復興庁

▼ 協力：株式会社 concept-village、一般社団法人 Cool Agri

▼ 問い合わせ先

事務局：NEC ソリューションイノベータ株式会社

担当 江本、岡野 fw_tohoku2017@nes.jp.nec.com

電話 03-5569-3300

以上